

第12回 榎原市総合政策審議会

日時：令和5年5月29日（月）午後3時00分～

場所：Web会議

出席者

- 委員：東委員、大城委員、奥村委員、桐山委員、佐伯委員、清水委員、玉井委員、中上委員、久委員、前川委員、三浦委員、山本委員
- 事務局：山風呂理事、戸田企画戦略部長、加護財務部長、若森企画戦略部副部長、芦高財務部副部長、清水企画政策課長、山本企画政策課長補佐、谷本企画政策課長補佐、友井統括調整員、松井主査、中尾主査

1. 開会

2. 委員紹介

事務局より委員紹介。

3. 会長・副会長選任

会長については、久委員を市長から指名している。
久会長が佐伯委員を副会長に選任。

4. 議事

榎原市第4次総合計画前期基本計画の進行管理及び第2期榎原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

事務局

それではただいまから議事に入ります。ここからは会長に進行をお願いしたいと思います。久会長よろしく願いいたします。

久会長

それでは私の方で議事を進めてまいりたいと思います。コロナ禍も収まりつつありますが、全体会議については引き続きオンラインで開催します。評価部会の方は対面で開催する予定ですので、資料の方で確認させていただきたいと思います。

それでは、まず一つ目の議事に入りたいと思います。「榎原市第4次総合計画前期基本計画の進行管理及び第2期榎原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」、まずは事務局の方から説明してください。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございました。次以降の議題で、実際のシートを見ながら総合計画・総合戦略の評価を詳しくご説明していただきます。この審議会で何をするのかは、そこで議論させていただきたいと思いますが、ただ今事務局からは総合計画と総合戦略の全体像について説明していただきました。総合計画と総合戦略の全体像についての質問があればと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。次以降の議題で、実際のシートをご説明していただきますので、具体的な質問がございましたら、そちらの方でお願いします。

橿原市第4次総合計画前期基本計画 施策評価シートについて

久会長

それでは2番目の議事になります、「橿原市第4次総合計画前期基本計画 施策評価シートについて」事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございました。資料2-1と資料2-2は同じシートを使っていますが、資料2-2は解説が入っているので、審議会の役割が見えやすいのかと思います。

評価部会での評価について(次第と議事が前後しています。)

久会長

私の方から、市役所の担当の方々にどのように説明したのかを含めて委員の皆さんにどのような検証ができるのかを共有させてもらいたいと思います。

資料2-2で言いますと、左上に「目指す姿」が記載されていますが、これがPDCAサイクルのP(プラン)に当たります。この「目指す姿」が実現しているか、ここに近づいているかでそれぞれの施策を評価しているということです。審議会においても、この「目指す姿」がどの程度実現しているかということで見させていただいて、その進捗度がこれでいいのか、積み残しの課題があるのであれば、それが今年度以降どのような対策が取られているのかがちゃんと記載されているのかを点検していただきます。それが、本審議会の役割かと思えます。そういう意味では、再度の話になりますが、大きな柱が「目指す姿」になりまして、ここへ近づいているかどうかでこのシートを見ていただければと思います。担当課の方で進捗度をAからDの4段階で評価していただいております、その評価の根拠ですね、なぜAなのか、なぜBなのかという根拠を下の「進捗度の根拠や成果」に記載していただいております。これを見させていただいて、なるほどそうかとなるのか、いや書きぶりがもう少し分かりやすい方がいいのか、分かりにくいのでどうなっていますかと評価部会でご質問していただくこととなります。成果が「進捗度の

根拠や成果」の欄に記載されていますが、一方で、積み残した課題が「目指す姿に向けた課題」に記載があります。それに対して今年度以降どうしていくのか、課題の対応策が「今後の方針」に記載されています。このあたりが PDCA サイクルの C(チェック)から A(アクション)に当たります。ここが課題解決に向けてちゃんと進む方向性として合っているのかということも見ていただければと思います。どうしても3番目の事務事業の方に目が行きがちになりますが、本審議会での議論は複数の事務事業が組み合わさった施策レベルでの話になりますので、できれば施策レベルでの議論ができればと考えております。3番目のところが効果のあった事務事業になっており、各担当課ではもっと多くの事務事業を実施されているわけですが、進捗度の評価をした際にこういうところが効果があった、できたということで評価をいただいていますので、その成果があがった部分を成果があがった順番に記載をいただいて、それぞれの事務事業でこういうような成果があがったから、その組み合わせで進捗度を評価している根拠となりますので、ご理解をいただければと思います。

最後になるのですが、どうしても指標が目が行きがちになります。指標は指標で非常に重要なのですが、この指標はあくまで代表指標になりますので、この指標が伸び悩んでいても、他のところで成果が出て B のような評価が出てくる場合もございますので、本審議会でも全体を押さえながら指標の伸びだけではない評価をご一緒に考えていただければと思います。ただいま、27 行政運営の分野を例に出していただいています。先程もご説明していただきましたが、何を担当課が評価されているのかを私なりに理解したのは、目指す姿が「市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営」ということで、かなり抽象度の高い内容となっています。この目指す姿について、2つの大きな柱として考えておられるのが、分かります。1つ目が、いわゆる「デジタル化」ですね。デジタル化をどんどん進めていきたい、デジタル化が進んでいることが1つの柱になります。もう1つが、いわゆるお金の話ですね。財政の話で、財政赤字にならずに健全で黒字の財政運営ができていうことをもう1つの柱にされています。この2つを絡めて評価をされているということで、理解しました。デジタル化は一定進んでいるがまだまだ進められる余地があり、財政の面でも「財政危機宣言」という危機的な状態は抜け出したけども予断を許す状況ではないのでさらに取組みを進めるということもあって、B という評価であると理解いたしました。他の施策においても、こういういくつかのポイントを押さええてそれぞれ担当課が評価をいただいていると思いますので、そこを共有しながら大きな枠組みで議論できればと考えています。

私からの説明は以上となりますが、先ほどの事務局からのご説明も含めて、ご質問やご意見がございましたらお話しいただければと思います。はい、清水委員お願いします。

清水委員

2点ございます。1つめは、昨年度もそうですが、指標についてどこまでこだわるかです。確かにおっしゃるとおりで、1つだけの数字ですし数字で測れるものとなっておりますが、あまりそこにこだわらずに、右側の施策の進捗度でちゃんと進んでいることが判断できれば、それを判断すればよいのかと思います。それであれば評価しやすいのかと思います。それが1つめです。2つめが、シートの中で「進捗度の根拠や成果」のところと下の事務事業による効果のところとが整合性が取れていない施策が昨年度もいくつかございまして、評価部会で実際に聞き取りをするとはっきりとわかるのですが、そのことが「進捗度の根拠や成果」のところとしっかりと記載されていないことも多かったもので、シートの方でしっかりと記載していただければ、評価がしやすいのかと思います。そのあたりをお願いできればと思います。以上です。

久会長

ありがとうございます。私の方からも、前もって各担当課の実際に作成していただく職員をお願いをしておりますが、清水委員からご指摘があったとおり、前年度もしっかりと内容が記載されているかどうかはシートを介して見ていただきます。しっかりと内容が記載されていないケースもあると思いますので、評価部会の方でその書きぶりもご指摘していただければと思います。内容の整合性について助言をいただいたり、分かりにくいということで一旦返して再度内容を担当課に検討していただくということにもなると思います。できるだけそういった指摘がないように、各担当課に事前をお願いできればと

思います。

事務局

先程の清水委員からのご指摘について、提出期限は既に過ぎておりますが、全てのシートが揃っているわけではありません。事務局の方でも一度全てのシートを確認させていただきまして、その書きぶりに応じて修正を依頼するようなことは予定しておりますので、よろしく願いいたします。

久会長

ありがとうございます。よろしく願いします。他にございますでしょうか。はい、奥村委員お願いいたします。

奥村委員

1点だけ質問があります。指標と内容を見たときに、整合性が取れていない場合に進捗度で判断していくということでお話していただいたのかなと思いますが、そもそも内容と指標に整合性が取れていないのなら、指標を変えた方が良いのではと思いました。今回はそのあたりに踏み込まず、進捗度の内容で判断していくという認識でよろしいですか。

久会長

ありがとうございます。大きく内容がずれている場合には、昨年度もサブ指標のようなものを設定することを提案いたしました。ただ、基本計画の冊子に既にこの指標が掲載されておりますので、次に基本計画を策定するときにはしか変更ができないこととなります。もし、指標を変更するというご提案であれば、現在の指標を使いながら、サブ指標としていくつか指標を追加するといったことになるのかと思います。評価部会の際にご提案をお願いできればと思います。

事務局

事務局より補足いたします。久会長からもお話がありましており、現在の指標は基本計画を含む総合計画の冊子に掲載されております。条例の規定に基づき、この冊子そのものが議会の議決事項になっております。内容を修正する場合には、市議会の承認が必要となりますので、そのあたり考慮していただければと思います。よろしく願いいたします。

久会長

ありがとうございます。その他にございますでしょうか。はい、佐伯副会長お願いいたします。

佐伯副会長

聞き逃したのかもしれませんが、進捗度を A から D の4段階で評価されるということで、具体的な言葉でその内容を教えていただけますか。

久会長

ありがとうございます。事務局から回答をお願いします。

事務局

はい、Aが「目指す姿を既に実現している」、B「目指す姿に向けて順調に進んでいる」、Cが「目指す姿の実現には努力が必要である」、最後Dが「目指す姿の実現には相当の努力が必要である」になります。以上になります。

佐伯副会長

ありがとうございます。

久会長

ありがとうございます。事務局の方から文章にしている内容で回答していただきましたが、もう少しざっばらんに言いますと、目指す姿に既に到達している場合にはA、順調に進んでいてあともうひと踏ん張りの状態がB、Cはもう少し頑張らないと目指す姿の到達には難しい、Dは相当頑張ってもらわないとこのままでは到底5年後に目指す姿を実現できないということになります。

他にご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。また、実際に評価シートが送られてきて、見ていただいたときにご不明な点がありましたら、事務局の方にお問い合わせいただければと思います。

第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて(次第と議事が前後しています。)

久会長

それでは、次の議事であります「第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて」に進みます。これについても、まずは事務局からご説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございました。先程の総合計画の基本計画と比べてかなり内容の書きぶりも違いますし、こちらの方は本審議会で評価することになります。ちなみに、A~Dの4段階で評価していただきますが、先程の資料にもありましたとおり、委員同士の調整はいたしません。それぞれの委員が評価していただいたものを、そのまま集計して報告書に反映するということになります。ただ、評価部会及び審議会で議論や評価の全体像を見ていただいて、他の委員と異なる評価をしていると感じた場合には、最終的に評価を変更するということはできますので、取りあえずご自身でA~Dの4段階評価をしていただいて、集計をしてそれを報告書に反映させていくということになります。コメントの方も調整をせずに、各委員からいただいたコメントをそのまま報告書に反映していきます。報告書については、各委員の評価やコメントがそのままベースになることを念頭にシートを提出していただければと思います。

それでは、何かご質問やご意見はございますでしょうか。はい、中上委員お願いします。

中上委員

総合戦略の効果検証シートについて、7月の評価部会の中で内容を確認するというところでよろしいでしょうか。

事務局

評価部会では、総合計画における基本計画を審議いたします。総合戦略については、委員の皆様方からご提出していただいた効果検証シートを報告書として冊子に取りまとめ、8月9日に開催予定の全体会の方でご審議していただく予定です。総合計画と総合戦略を同時に評価しておりますが、そういったすみ分けをしておりますので、よろしくお願いいたします。

久会長

ありがとうございます。評価部会では総合計画の基本計画は議論するのですが、総合戦略についても議論をするのかというご質問と思います。総合戦略については、事務局からの回答にもありましたとおり8月の全体会で議論をして、最終的な調整をしていくことになるかと思えます。

事務局

評価部会におきましては、基本的には資料2の総合計画の基本計画のみご審議していただきまして、資料3総合戦略の効果検証についての審議はないということになります。

中上委員

ありがとうございます。そうであれば、総合戦略の効果検証については、いただいた資料を基に評価していく、効果検証シートを作るということでよろしいでしょうか。

事務局

はい、そのとおりです。

中上委員

資料に基づいて評価していくことが前提になっていて、KPI(重要業績評価指数)により評価できると思うのですが、KPIが達成されていれば、A「効果が得られた」という評価にしてよいでしょうか。KPIが達成されているのにBやCの評価をする場合は、何か根拠のようなものをコメントに付けた方がよいのでしょうか。

事務局

KPIだけに基づいて評価するのではなく、取組み全体を見ていただいて、重点施策に対する効果があがっているかで総合的に評価していただければと思います。KPIだけを見てしまうと、指標のみが判断材料となってしまう、客観性を欠く恐れがありますので、KPIを踏まえながら総合的に評価をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

久会長

例えばですが、資料3-2の P.17、P.18 を見ていただくと、企業誘致や企業支援の取組みのところ
で、2つの KPI が設定されています。企業立地に関する相談件数と空き店舗(創業者)出店支援件数
が KPI となっており、この2つは KPI なので非常に重要な指標なのですが、右側の P.18 にも様々な
取組みとその成果が記載されておりますので、こちらもご覧いただいて2ページを総合的に評価してい
ただくということになります。それぞれの重点施策における KPI と主な取組みのところを見ていただい
て、総合的に評価していただきます。資料を見てご不明な点がございましたら、事務局の方にお問い
合わせいただければと思います。それでは、清水委員お願いします。

清水委員

確認です。資料を見ると、評価部会るときにシートの提出となっているのですが、そのタイミングでた
ままた提出できるということであって、総合戦略のことを評価部会で議論するというではないというこ
とでよろしいでしょうか。それが1つと、もう1つが KPI だけで評価してしまうと、昨年度もコロナの影響
があって、KPI がほとんど0という状況でした。そうではなく、KPI も含めて様々な取組みや効果で総
合的に評価するというでよろしいでしょうか。再度の確認ですが、よろしくをお願いします。

久会長

ありがとうございます。事務局から回答をお願いします。

事務局

シートの提出につきましては、こちらに来ていただくタイミングが評価部会るときになりますので、評価
部会の際にご提出していただいても結構ですという意味です。移住の件を除いては、何か議論をする
というわけではありません。評価の件につきましては、清水委員のおっしゃられているとおりで、KPI だ
けではなく、取組みも含めて総合的に評価していただきますので、よろしくお願ひいたします。

清水委員

ありがとうございます。

久会長

ありがとうございます。他にご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、評価してい
るときにご不明な点がありましたら、随時事務局の方にご質問していただければと思います。

今後のスケジュール及び評価部会の構成案について

久会長

それでは、最後の議事になります。「今後のスケジュール及び評価部会の構成案について」、事務局
からご説明をお願いします。

事務局

(資料説明)

久会長

ありがとうございました。スケジュール及び評価部会の構成案ということでございましたが、何かご質問やご意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、お示しいただいたスケジュール及び評価部会の構成で進めてまいりたいと思います。特に、市民公募委員の方々は2回参加していただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。

これで本日の議事は以上となりますが、何か全体を通してご意見やご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日の議事を終了とさせていただきます。円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

事務局

久会長、ありがとうございました。以上で予定していた案件は全て終了いたしました。委員の皆様、長時間に渡るご審議、ありがとうございました。

次回の総合政策審議会は7月4日(火)・5日(水)・6日(木)に評価部会を、8月9日(水)午後1時30分に全体会を開催する予定です。場所は評価部会については大和信用金庫八木支店3階会議室を、全体会については今回と同じくオンライン開催を予定しております。皆様のご出席、ご審議をよろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の総合政策審議会を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。

(以上)